

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公開番号】特開2006-286749(P2006-286749A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2005-101955(P2005-101955)

【国際特許分類】

H 01 L 51/50 (2006.01)

C 09 K 11/06 (2006.01)

C 07 F 9/50 (2006.01)

C 07 F 1/08 (2006.01)

【F I】

H 05 B 33/14 B

C 09 K 11/06 6 6 0

C 07 F 9/50

C 07 F 1/08 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

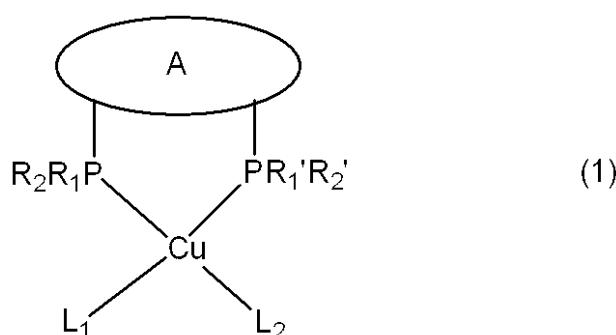
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(1)で示される部分構造を有する単核の銅配位化合物を発光材料として用いること特徴とする発光素子。

【化1】



[Cuは銅イオンであり、PR₁R₂A PR₁'R₂'は2座のホスフィン配位子である。

R₁、R₂、R₁'、R₂'は、水素原子、水素原子がハロゲンに置換されても良い炭素数10以下の分岐、環状または直鎖状のアルキル基、置換基を有しても良いアルコキシ基、置換基を有しても良い芳香環基、置換基を有しても良いアリールオキシ基、および置換基を有しても良い複素環基であり、それぞれ同じでも異なっていても良く、R₁とR₂、R₁'とR₂'は、互いに結合し環を形成してもよい。

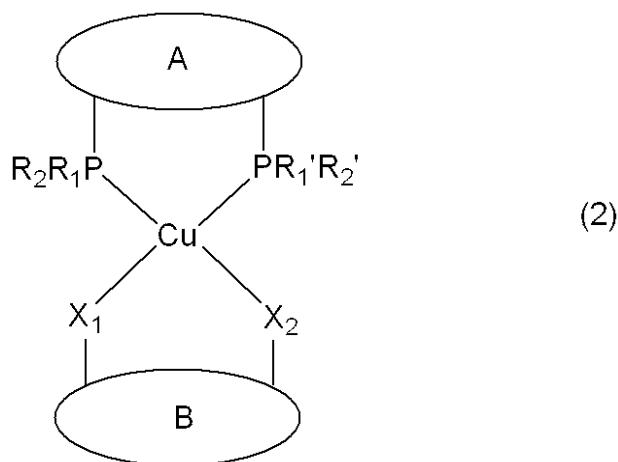
L₁およびL₂は炭素、酸素、リン、硫黄、ハロゲンから選ばれる元素を配位原子とする配位子であり、それぞれ同じでも異なっていても良い。]

【請求項2】

前記部分構造が、下記一般式(2)で示されること特徴とする請求項1に記載の発光素

子。

【化2】

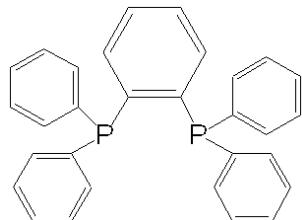


[X_1 , B , X_2 は 2 座配位子であり、 X_1 および X_2 は、炭素、酸素、リン、硫黄から選ばれる原子であり、それぞれ同じでも異なっていても良い。]

【請求項3】

前記 2 座のホスフィン配位子 $PR_1R_2APR_1' R_2'$ が下記式(3)で示されることを特徴とする請求項1または2に記載の発光素子。

【化3】



【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

L_1 および L_2 は炭素、酸素、リン、硫黄、ハロゲンから選ばれる元素を配位原子とする配位子であり、それぞれ同じでも異なっていても良い。]

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

[X_1 , B , X_2 は 2 座配位子であり、 X_1 および X_2 は、炭素、酸素、リン、硫黄から選ばれる原子であり、それぞれ同じでも異なっていても良い。]